

第 1 4 9 回

取引先企業景気動向調査

〔平成27年 4－6月実績〕
〔平成27年 7－9月見通し〕

瀬戸信用金庫

総合企画部

調査概要

1. 調査期間 平成27年4～6月を対象に6月上旬に実施した。
2. 調査対象先 瀬戸・尾張旭地区は11業種175社。（うち陶磁器製造業88社）
名古屋地区は7業種136社。（下表）
3. 調査方法 当金庫の営業店担当者による面接聞き取り調査。
4. 分析方法 各質問事項につき、増加（上昇）したとする企業割合と減少（下降）したとする企業割合の差（DI）を中心にして分析した。
なお、珪砂製造業、和飲食器卸売業、電設資材卸売業、建築・土木・生コン製造業、螺子製造業は陶磁器製造業の集計には含めていない。

《瀬戸・尾張旭地区》

《名古屋地区》

《瀬戸・尾張旭地区》				《名古屋地区》					
業種		対象企業	有効回答	比率%	業種		対象企業	有効回答	比率%
陶磁器製造業	ノベルティ	17	17	100.0	製造業	繊維製品	11	11	100.0
	洋飲食器	9	9	100.0		機械部品	37	37	100.0
	タイル	8	7	87.5		紙加工品	14	14	100.0
	電磁器	21	21	100.0	卸売業	鋼材伸銅	21	21	100.0
	ファインセラミックス	14	14	100.0		建築材料	15	15	100.0
	和飲食器	19	19	100.0		家具文具	10	10	100.0
陶磁器製造業計	88	87	98.9	---		---	---	---	
珪砂製造業	11	11	100.0	---		---	---	---	
その他5業種	和飲食器卸売業	24	24	100.0	---	---	---	---	
	電設資材卸売業	18	18	100.0	---	---	---	---	
	建築・土木・生コン製造業	17	17	100.0	---	---	---	---	
	螺子製造業	17	17	100.0	---	---	---	---	
	その他5業種計	87	87	100.0	建設業	28	28	100.0	
瀬戸・尾張旭地区合計		175	174	99.4	名古屋地区合計		136	136	100.0
合計		対象企業数	311社	有効回答数	310社	回答率	99.7%		

判断指数：（DI）とは、業況・受注・売上・収益の増加企業割合から減少企業割合を引いた数値で、どちらの割合が多いかを比べて、景気がどの方向に向きつつあるかをみる方法である。

（例）前回に比べて売上が増加した企業割合40%、変わらなかった企業割合50%、減少した企業割合10%の場合、判断指数は40－10＝30となる。

判断指数がプラスのとき → 景気上向き

判断指数が0のとき → 景気横ばい

判断指数がマイナスのとき → 景気下向きと読み取る。

< 瀬戸・尾張旭地区 >

1. 今回調査の景況（4～6月）

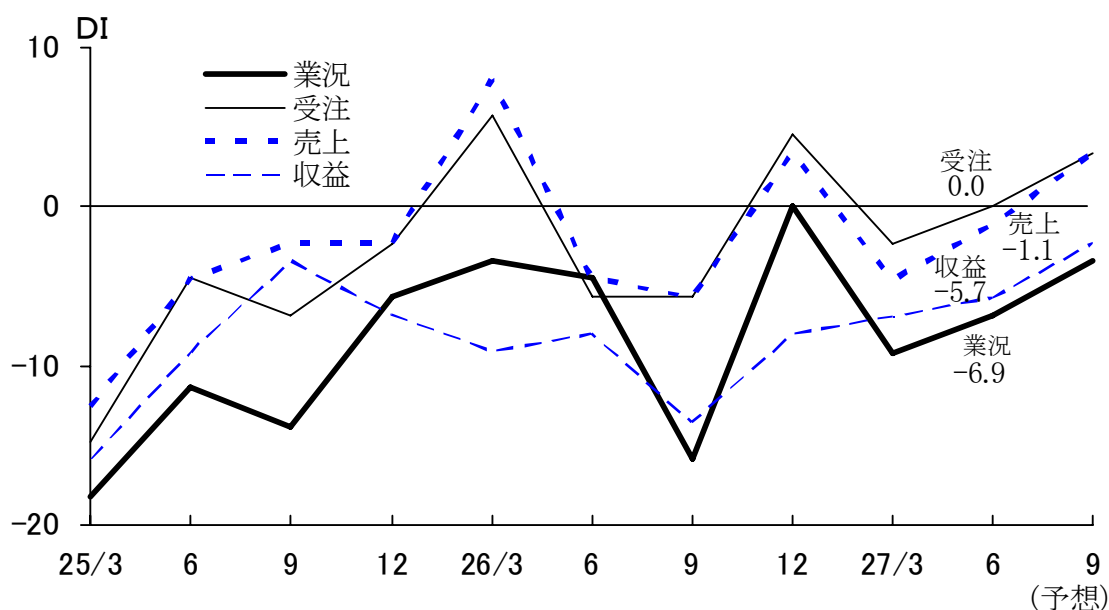
DIは持ち直し傾向で推移

瀬戸・尾張旭地区の陶磁器製造業取引先企業（有効回答企業 87 社）の 4～6 月（聞き取りによる前回調査 1～3 月との対比）の業況についてみると、業況判断 DI は $\Delta 6.9$ となり、前回実績 ($\Delta 9.2$) 比 2.3 ポイントの改善となった。

当地区陶磁器製造業においては、需要低迷は続いているものの、新規取引先からの受注や海外向けの新規受注の動きがあり、全体としてはわずかに持ち直し傾向で推移した。

業種別の業況判断 DI をみると、ノベルティ・洋飲食器・タイルは改善、電磁器・ファインセラミックス・和飲食器は悪化した。

◎ 陶磁器製造業の業況・受注・売上・収益 DI 推移（前回調査比）














2. 来期の見通し（7～9月）

3.5ポイント改善予想

陶磁器製造業全体での予想業況判断 DI は $\Delta 3.4$ となり、今回実績 ($\Delta 6.9$) 比 3.5 ポイントの改善予想となった。

業種別の業況判断 DI では、ファインセラミックスは強含みで推移、ノベルティ・電磁器は改善、洋飲食器・和飲食器は横ばい、タイルは悪化する見通し。

◎陶磁器製造業のD I 推移

時期 指標		「増加－減少」企業割合(D I)										
		H25				H26				H27		H27.7-9
		1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	(予想)
前回調査比	業況											
		-18.2	-11.4	-13.8	-5.7	-3.4	-4.5	-15.9	0.0	-9.2	-6.9 (-8.0)	(-3.4)
	受注額	-14.8	-4.5	-6.9	-2.3	5.7	-5.7	-5.7	4.5	-2.3	0.0 (0.0)	(3.4)
	売上額	-12.5	-4.5	-2.3	-2.3	8.0	-4.5	-5.7	3.4	-4.6	-1.1 (2.3)	(3.4)
	売上数量	-14.8	-6.8	-3.4	-2.3	2.3	-6.8	-8.0	1.1	-4.6	-1.1 (1.1)	(4.6)
	販売単価	0.0	-3.4	0.0	-1.1	-1.1	3.4	9.1	1.1	2.3	0.0 (0.0)	(-1.1)
	仕入価格	14.8	13.6	13.8	18.2	15.9	23.9	20.5	13.6	12.6	14.9 (12.6)	(13.8)
	製品在庫	1.1	-1.1	2.3	-1.1	0.0	5.7	2.3	0.0	-2.3	3.4 (0.0)	(1.1)
	原材料在庫	0.0	0.0	2.3	1.1	1.1	2.3	2.3	-1.1	0.0	2.3 (1.1)	(1.1)
	収益	-15.9	-9.1	-3.4	-6.8	-9.1	-8.0	-13.6	-8.0	-6.9	-5.7 (-3.4)	(-2.3)
資金繰り	-10.2	-10.2	-9.2	-11.4	-9.1	-17.0	-10.2	-6.8	-9.2	-6.9 (-8.0)	(-3.4)	
前年同期比	売上額	-6.8	2.3	-3.4	-4.5	8.0	-2.3	-8.0	-2.3	-5.7	0.0	
	収益	-9.1	-2.3	-9.2	-10.2	-4.5	-5.7	-10.2	-5.7	-9.2	-1.1	
設備投資 実施割合(%)		2.3	3.4	4.6	3.4	5.7	6.8	4.5	4.5	5.7 (5.7)	(4.6)	
平均受注残	3月末 1.4ヶ月	6月末 1.5ヶ月	9月末 1.4ヶ月	12月末 1.4ヶ月	3月末 1.5ヶ月	6月末 1.7ヶ月	9月末 1.7ヶ月	12月末 1.7ヶ月	3月末 1.7ヶ月	6月末 1.7ヶ月		

注. () 内は前期に予想した割合を示す。

景況天気図



陶磁器製造業

<ノベルティ>

1. 景況

業況判断D Iは0.0、前回(△11.8)に比べ11.8ポイント改善した。季節商品である風鈴等の受注が増加した企業や、海外での大型受注契約を獲得した企業があり、受注・売上・収益ともに改善した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは5.9、今期実績比5.9ポイント改善する見込み。引き続き海外での大型受注契約を見込む企業があるものの、受注・売上・収益はともに弱含みで推移する見込み。

	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	17.6	17.7	64.7	0.0	11.8		5.9	0.0	94.1	5.9	5.9
受注	17.6	5.9	76.5	11.8	17.7		5.9	0.0	94.1	5.9	△5.9
売上	17.6	5.9	76.5	11.8	17.7	11.8	5.9	0.0	94.1	5.9	△5.9
収益	17.6	11.8	70.6	5.9	11.8	5.9	5.9	5.9	88.2	0.0	△5.9

<洋飲食器>

1. 景況

業況判断D Iは△11.1、前回(△33.3)に比べ22.2ポイント改善した。単価の値上げにより売上が増加した企業があるものの、取引先の高齢化により受注が減少した企業があり、受注・収益は悪化、売上は横ばいで推移した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△11.1、今期実績比変わらず横ばいで推移する見込み。引き続き取引先の高齢化による受注減少を見込む企業があり、売上は悪化、収益は横ばいで推移する見込み。

	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	11.1	88.9	△11.1	22.2		0.0	11.1	88.9	△11.1	0.0
受注	0.0	22.2	77.8	△22.2	△22.2		0.0	11.1	88.9	△11.1	11.1
売上	11.1	11.1	77.8	0.0	0.0	△22.2	0.0	11.1	88.9	△11.1	△11.1
収益	0.0	22.2	77.8	△22.2	△33.3	△11.1	0.0	22.2	77.8	△22.2	0.0

<タイル>

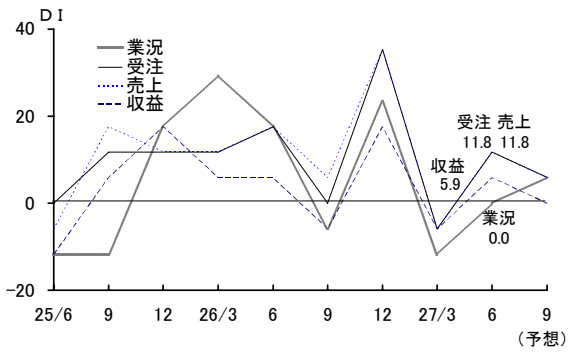
1. 景況

業況判断D Iは△28.6、前回(△37.5)に比べ8.9ポイント改善した。主力販売先の倒産やマンション着工数の減少に伴い受注が減少した企業があり、受注・売上・収益はともに悪化した。

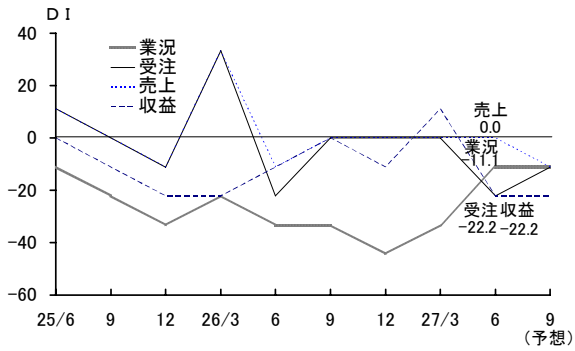
2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△42.9、今期実績比14.3ポイント悪化する見込み。引き続き主力販売先の倒産の影響や、マンション着工数の減少による受注減少を見込む企業があるものの、受注・売上は横ばい、収益は改善するが低調に推移する見込み。

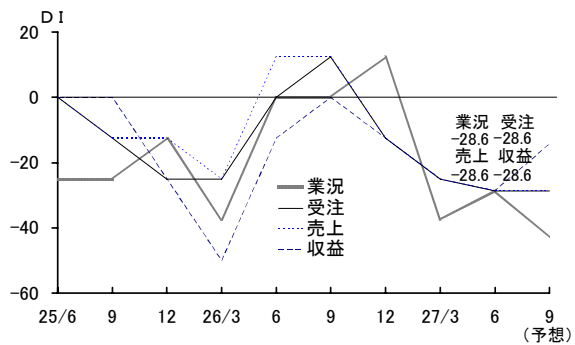
	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	28.6	71.4	△28.6	8.9		0.0	42.9	57.1	△42.9	△14.3
受注	0.0	28.6	71.4	△28.6	△3.6		0.0	28.6	71.4	△28.6	0.0
売上	0.0	28.6	71.4	△28.6	△3.6	△28.6	0.0	28.6	71.4	△28.6	0.0
収益	0.0	28.6	71.4	△28.6	△3.6	△14.3	14.3	28.6	57.1	△14.3	14.3



時期	前期 平成27年 1～3月	当期 平成27年 4～6月	来期見通し 平成27年 7～9月
業種			
ノベルティ			



洋飲食器			
------	--	--	--



タイル			
-----	--	--	--

＜電磁器＞

1. 景況

業況判断D Iは△9.5、前回（△5.0）に比べ4.5ポイント悪化した。電力業界の先行き不透明感はあるものの、安定した受注を確保している企業も多く、受注・売上・収益は改善した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは0.0、今期実績比9.5ポイント改善の見込み。新規販売先の獲得や、電力会社からの新規受注を見込む企業もあり、受注・売上・収益は改善する見込み。

	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	9.5	90.5	△9.5	△4.5		4.8	4.8	90.5	0.0	9.5
受注	0.0	0.0	100.0	0.0	5.0		9.5	0.0	90.5	9.5	9.5
売上	0.0	0.0	100.0	0.0	10.0	△14.3	9.5	0.0	90.5	9.5	9.5
収益	0.0	9.5	90.5	△9.5	5.5	△9.5	0.0	4.8	95.2	△4.8	4.7

＜ファインセラミックス＞

1. 景況

業況判断D Iは7.1、前回（14.3）に比べ7.2ポイント悪化した。取引先の減少により低調な企業はあったが、新規取引先・既存取引先からの受注が増加した企業が複数あり、受注・収益は改善、売上は横ばいで推移した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは14.3、今期実績比7.2ポイント改善する見込み。引き続き既存取引先からの受注増加や触媒関連で受注増加を見込む企業もあり、受注・売上・収益はともに改善する見込み。

	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	21.4	14.3	64.3	7.1	△7.2		21.4	7.1	71.4	14.3	7.2
受注	21.4	7.1	71.4	14.3	14.3		21.4	0.0	78.6	21.4	7.1
売上	14.3	7.1	78.6	7.1	0.0	21.4	14.3	0.0	85.7	14.3	7.2
収益	21.4	7.1	71.4	14.3	14.3	14.3	21.4	0.0	78.6	21.4	7.1

＜和飲食器＞

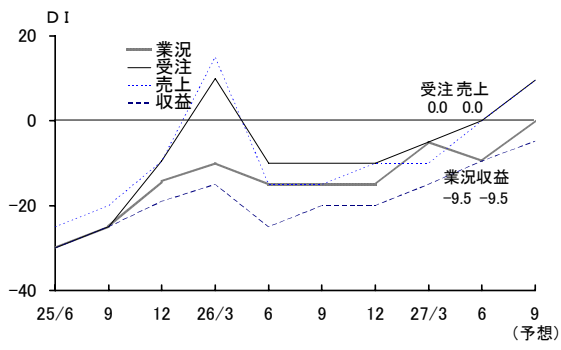
1. 景況

業況判断D Iは△10.5、前回（△5.3）に比べ5.2ポイント悪化した。インターネット販売の売上増加となった企業があるものの、同業者の廃業により事業縮小傾向の企業もあり、受注・売上・収益はいずれも悪化した。

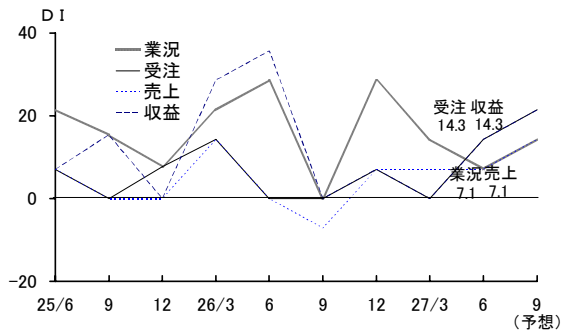
2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△10.5、今期実績比横ばいで推移する見込み。引き続き同業者の廃業の影響で事業縮小傾向の企業はあるが、新商品発売やインターネット販売での売上増加を見込む企業もあり、受注は横ばい、売上・収益は改善する見込み。

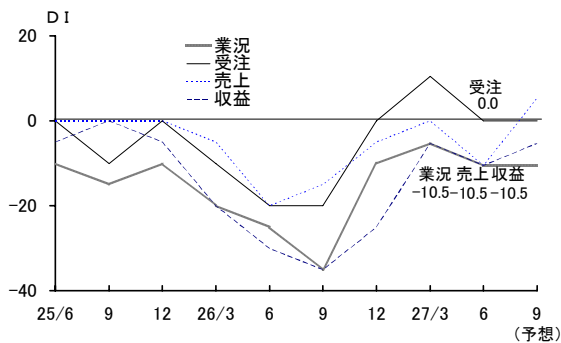
	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	10.5	89.5	△10.5	△5.2		0.0	10.5	89.5	△10.5	0.0
受注	10.5	10.6	78.9	0.0	△10.5		5.3	5.3	89.5	0.0	0.0
売上	0.0	10.6	89.5	△10.5	△10.5	10.5	10.5	5.3	84.2	5.3	15.8
収益	0.0	10.6	89.5	△10.5	△5.2	0.0	0.0	5.3	94.7	△5.3	5.2



時期	前期 平成27年 1～3月	当期 平成27年 4～6月	来期見通し 平成27年 7～9月
業種			
電磁器			



ファインセラミックス			
------------	--	--	--



和飲食器			
------	--	--	--

その他

<珪砂製造業>

1. 景況

業況判断D Iは18.2、前回(0.0)に比べ18.2ポイント改善した。取引先からの生産調整により低調となった企業があったものの、新規取引先や既存取引先からの受注が増加した企業があり、受注・売上は改善、収益は悪化した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは0.0、今期実績比18.2ポイント悪化する見込み。引き続き取引先からの生産調整を見込む企業があり、受注・売上は悪化、収益は横ばいで推移する見込み。

	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	27.3	9.1	63.6	18.2	18.2		18.2	18.2	63.6	0.0	△18.2
受注	27.3	9.1	63.6	18.2	36.4		0.0	9.1	90.9	△9.1	△27.3
売上	18.2	18.2	63.6	0.0	18.2	△27.3	0.0	9.1	90.9	△9.1	△9.1
収益	9.1	27.3	63.6	△18.2	△9.1	△36.4	0.0	18.2	81.8	△18.2	0.0

<和飲食器卸売業>

1. 景況

業況判断D Iは△8.3、前回(△4.2)に比べ4.1ポイント悪化した。主要取引先からの新商品の受注増加や、取引先の新規出店に伴う増加があるものの、天候不順により客足が減少した取引先やホテル関連の受注が伸び悩んだ企業もあり、売上は横ばい、収益は悪化した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△12.5、今期実績比4.2ポイント悪化する見込み。季節要因による売上減少を見込む企業もあるが、引き続き取引先の新規出店に伴う増加を見込む企業や粗品による受注増加を見込む企業もあり、売上は横ばい、収益は改善する見込み。

	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	4.2	12.5	83.3	△8.3	△4.1		0.0	12.5	87.5	△12.5	△4.2
売上	8.3	8.3	83.3	0.0	0.0	4.2	8.3	8.4	83.3	0.0	0.0
収益	0.0	16.7	83.3	△16.7	△8.4	△4.2	4.2	12.5	83.3	△8.3	8.4

<電設資材卸売業>

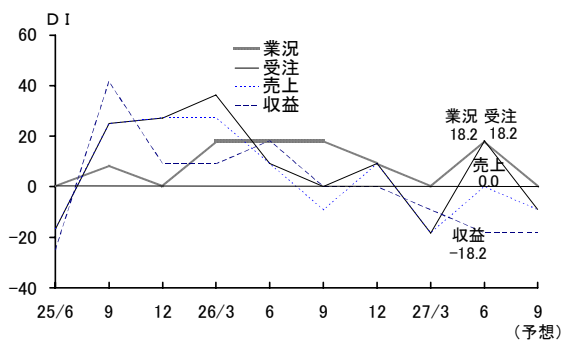
1. 景況

業況判断D Iは5.6、前回(△11.1)に比べ16.7ポイント改善した。主要取引先からの受注が増加する企業があり、売上は改善、収益は横ばいで推移した。

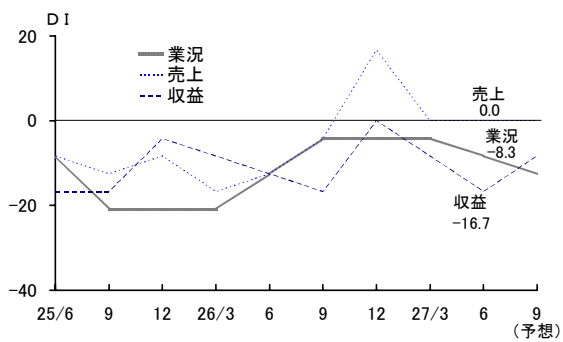
2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは5.6、今期実績比横ばいで推移する見込み。取引先からの受注は安定している企業が複数あり、売上は改善、収益は横ばいで推移する見込み。

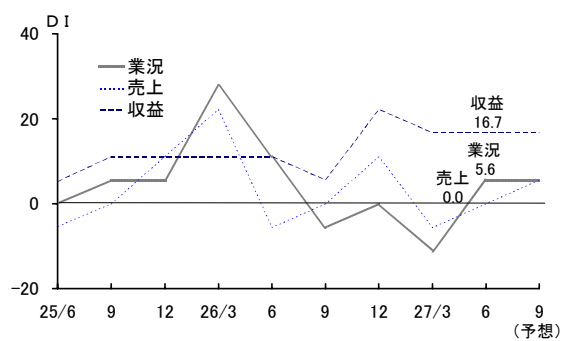
	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	11.1	5.6	83.3	5.6	16.7		5.6	0.0	94.4	5.6	0.0
売上	5.6	5.6	88.9	0.0	5.6	16.7	5.6	0.0	94.4	5.6	5.6
収益	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	83.3	16.7	0.0



時期	前期 平成27年 1～3月	当期 平成27年 4～6月	来期見通し 平成27年 7～9月
業種			
珪砂製造業			



和飲食器 卸売業			
-------------	--	--	--



電設資材 卸売業			
-------------	--	--	--

〈建築・土木・生コン製造業〉

1. 景況

業況判断D Iは△11.8、前回（17.6）に比べ 29.4 ポイント悪化した。年度初めのため公共工事の受注が減少した企業が多くあり、受注・売上・収益はともに悪化した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△5.9、今期実績比 5.9 ポイント改善する見込み。引き続き公共工事の受注減少を見込む企業がある一方、市などからの工事で受注増加を見込む企業もあり受注・売上・収益はともに改善する見込み。

	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	11.8	88.2	△11.8	△29.4		0.0	5.9	94.1	△5.9	5.9
受注	5.9	17.7	76.5	△11.8	△35.3		11.8	11.8	76.5	0.0	11.8
売上	5.9	17.7	76.5	△11.8	△29.4	5.9	11.8	11.8	76.5	0.0	11.8
収益	11.8	17.7	70.6	△5.9	△17.7	0.0	11.8	11.8	76.5	0.0	5.9

〈螺子製造業〉

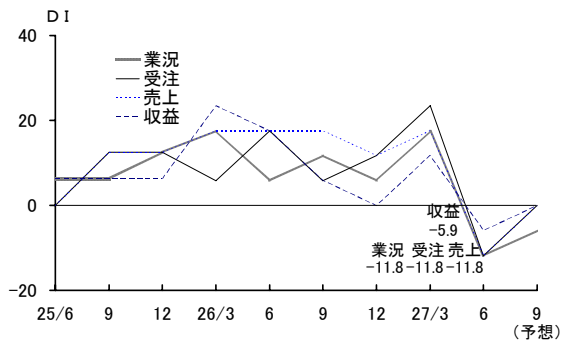
1. 景況

業況判断D Iは△5.9、前回（0.0）に比べ 5.9 ポイント悪化した。海外の好調な自動車販売により堅調に推移している企業があるものの、取引先からの生産調整や値下げ要請により受注・売上が減少した企業があり、受注・売上・収益は悪化した。

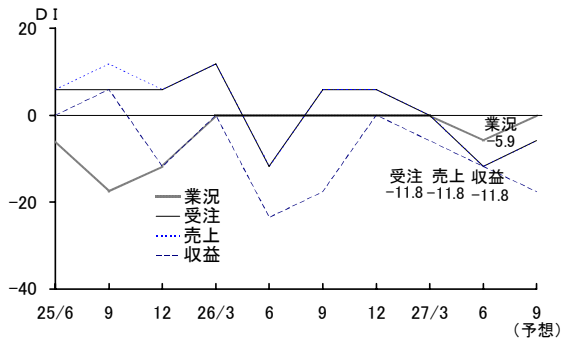
2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは 0.0、今期実績比 5.9 ポイント改善する見込み。引き続き取引先からの値下げ要請を見込む企業があるものの、自動車部品を中心に安定しており受注・売上は改善、収益は悪化する見込み。

	27年4-6月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	27年7-9月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	5.9	11.8	82.4	△5.9	△5.9		5.9	5.9	88.2	0.0	5.9
受注	0.0	11.8	88.2	△11.8	△11.8		0.0	5.9	94.1	△5.9	5.9
売上	0.0	11.8	88.2	△11.8	△11.8	△5.9	0.0	5.9	94.1	△5.9	5.9
収益	0.0	11.8	88.2	△11.8	△5.9	△11.8	0.0	17.6	82.4	△17.6	△5.8



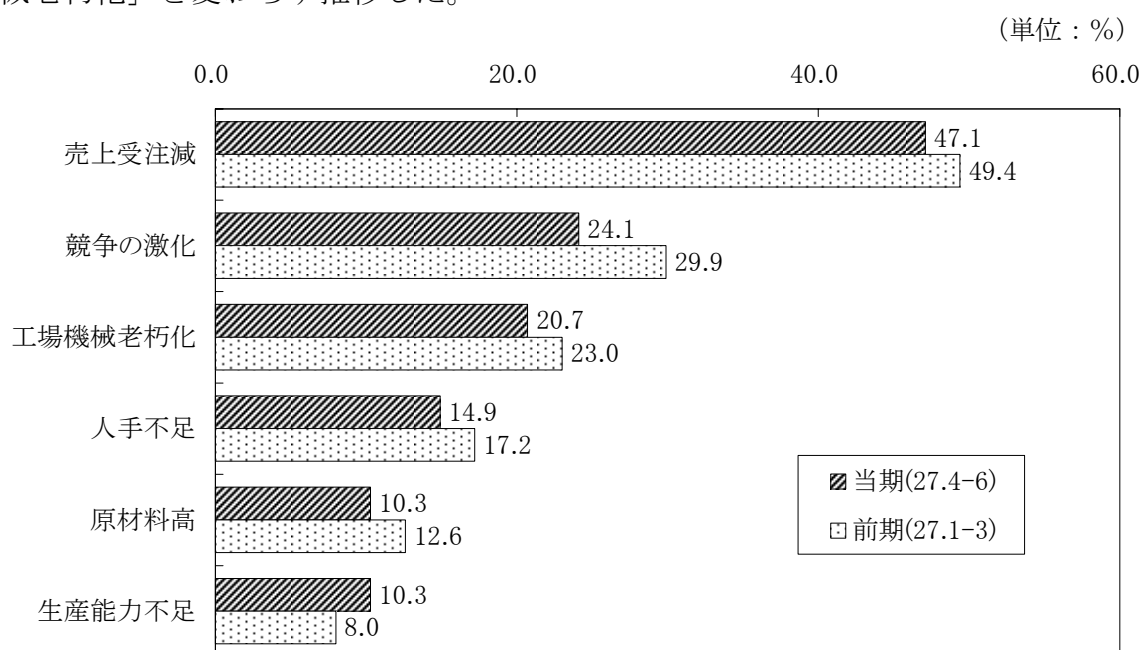
時期	前期 平成27年 1～3月	当期 平成27年 4～6月	来期見通し 平成27年 7～9月
業種			
建築・土木 生コン 製造業			



業種			
螺子製造業			

経営上の問題点上位5項目（陶磁器製造業）

今回調査では、1位「売上・受注の停滞・減少」、2位「競争の激化」、3位「工場機械老朽化」と変わらず推移した。



※数字は有効回答数に占める割合で1企業が3項目回答

設備投資の動き（陶磁器製造業）

今回調査では、設備投資の実績は5.7%で、前期実績比横ばいで推移した。来期（今後3か月以内）は4.6%で、当期実績を1.1ポイント下回って推移する予想となった。

(単位：%)

	前期 27年1-3月期	当期 27年4-6月期	来期 27年7-9月期
実施あり	5.7	5.7	4.6
土地	20.0	0.0	0.0
建物	20.0	20.0	0.0
機械の新設	40.0	60.0	100.0
機械の更改	0.0	20.0	25.0
その他	20.0	20.0	0.0
実施なし	94.3	94.3	95.4

※内訳の数字は「実施あり」に占める割合で、1企業が複数回答あり。

中小企業の賃上げと人材確保への取組みについて

特別調査として「中小企業の賃上げと人材確保への取組み」を、瀬戸・尾張旭地区の11業種175社（うち陶磁器製造業88社）、名古屋地区の7業種136社を対象に調査を実施しました。結果は以下のとおりです。

なお、全国、愛知県は、信金中央金庫の調査によるもので、調査先は全国15,995先、愛知県740先の結果です。

1. 賃上げの実施について

(単位:%)

	賃上げを実施した						賃上げを実施しなかった					
		政府の賃上げ要請	自社の業績改善を反映	同業他社地域他社賃上げ	従業員の待遇改善	その他		これまでに賃上げ実施済	景気見通しが不透明	自社の業績	賃上げ検討したことなし	その他
ノベルティ	11.8	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	88.2	0.0	23.5	47.1	11.8	5.9
洋飲食器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0
タイル	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	85.7	0.0	42.9	0.0	42.9	0.0
電磁器	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	95.2	4.8	38.1	38.1	14.3	0.0
ファインセラミックス	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0	21.4	35.7	14.3	14.3
和飲食器	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	89.5	15.8	26.3	15.8	31.6	0.0
陶磁器製造業計	9.2	0.0	4.6	1.1	3.4	0.0	90.8	4.6	27.6	35.6	19.5	3.4
珪砂	45.5	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0	54.5	0.0	9.1	36.4	9.1	0.0
和飲食器卸売	12.5	0.0	0.0	0.0	8.3	4.2	87.5	0.0	29.2	16.7	33.3	8.3
電設資材卸売	44.4	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	55.6	5.6	11.1	27.8	11.1	0.0
建築・土木・生コン	23.5	0.0	5.9	0.0	17.6	0.0	76.5	0.0	17.6	47.1	11.8	0.0
螺子	17.6	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0	82.4	0.0	64.7	17.6	0.0	0.0
その他業種計	26.4	0.0	5.7	1.1	18.4	1.1	73.6	1.1	27.6	27.6	14.9	2.3
瀬戸・尾張旭地区取引先計	17.8	0.0	5.2	1.1	10.9	0.6	82.2	2.9	27.6	31.6	17.2	2.9
名古屋地区取引先計	27.0	0.0	3.6	2.2	19.7	1.5	73.0	9.5	28.5	24.1	10.9	0.0
当金庫取引先計	21.9	0.0	4.5	1.6	14.8	1.0	78.1	5.8	28.0	28.3	14.5	1.6
全国	28.0	1.1	6.2	1.9	17.8	1.0	72.0	6.4	24.5	25.2	13.7	2.2
愛知	43.2	1.2	9.6	3.4	27.6	1.4	56.8	5.2	19.8	21.3	8.2	2.3

2割の企業が今春に賃上げを実施

<当金庫取引先>

今春の賃上げの実施については、「実施した」の回答割合が21.9%、「実施しなかった」の回答割合は78.1%となった。賃上げ実施の理由としては、「従業員の待遇改善」が14.8%と最も高く、「自社の業績改善を反映(4.5%)」「同業他社地域他社賃上げ(1.6%)」と続いた。賃上げを実施しなかった理由としては、「自社の業績(28.3%)」「景気見通しが不透明(28.0%)」の2つが上位となった。

瀬戸・尾張旭地区取引先は、「実施した」の回答割合が17.8%、「実施しなかった」の回答割合は82.2%となった。名古屋地区取引先は「実施した」の回答割合が27.0%、「実施しなかった」の回答割合は73.0%となり、賃上げを実施した企業割合が瀬戸・尾張旭地区取引先を大きく上回った。

全国、愛知県はともに、「実施した」の回答割合が当金庫取引先と比較して高く、特に愛知県では4割以上の企業が「実施した」と回答した。

<陶磁器製造業>

今春の賃上げの実施について、「実施した」の回答割合が9.2%、「実施しなかった」の回答割合が90.8%となり、ほとんどの企業が賃上げを実施していない。

賃上げ実施の理由としては、「自社の業績改善を反映(4.6%)」「従業員の待遇改善(3.4%)」、賃上げを実施しなかった理由としては、「自社の業績(35.6%)」「景気見通しが不透明(27.6%)」となった。また「賃上げを検討したことがない」との回答も19.5%あった。

2. 賃上げ決定の過程について

(単位:%)

	代表者(社長) 1人の判断	幹部間 での協議	労働者組合 との団体協議	従業員との 個別協議	その他
ノベルティ	41.2	58.8	0.0	0.0	0.0
洋飲食器	0.0	77.8	0.0	22.2	0.0
タイル	28.6	57.1	0.0	14.3	0.0
電磁器	47.6	38.1	0.0	14.3	0.0
ファインセラミックス	21.4	57.1	0.0	21.4	0.0
和飲食器	26.3	36.8	0.0	36.8	0.0
陶磁器製造業計	31.0	50.6	0.0	18.4	0.0
珪砂	45.5	54.5	0.0	0.0	0.0
和飲食器卸売	41.7	54.2	0.0	4.2	0.0
電設資材卸売	16.7	61.1	0.0	22.2	0.0
建築・土木・生コン	35.3	64.7	0.0	0.0	0.0
螺子	52.9	41.2	0.0	5.9	0.0
その他業種計	37.9	55.2	0.0	6.9	0.0
瀬戸・尾張旭地区取引先計	34.5	52.9	0.0	12.6	0.0
名古屋地区取引先計	32.1	52.6	0.0	10.9	4.4
当金庫取引先計	33.4	52.7	0.0	11.9	1.9
全国	40.5	45.3	2.0	9.5	2.7
愛知	33.8	54.5	2.8	6.2	2.6

5割以上の企業が幹部間での協議

<当金庫取引先>

賃上げ決定の過程については、「幹部間での協議」の回答割合が**52.7%**と最も高く、続いて「代表者(社長)1人の判断(33.4%)」「従業員との個別協議(11.9%)」となった。また「労働者組合との団体協議」との回答はなかった。

瀬戸・尾張旭地区取引先、名古屋地区取引先ともに、「幹部間での協議」が5割以上、「代表者(社長)1人の判断」が3割以上あり差はなかった。

また全国・愛知県をみると、愛知県では当金庫と同様の回答割合となったが、全国では「代表者(社長)1人の判断」の回答割合が**40.5%**と高くなっている。

<陶磁器製造業>

賃上げ決定の過程について、「幹部間での協議」の回答割合が**50.6%**と最も高く、続いて「代表者(社長)1人の判断(31.0%)」「従業員との個別協議(18.4%)」となった。

業種別にみると、電磁器以外の5業種で「幹部間の協議」の回答割合が最も高く、なかでも洋飲食器は**77.8%**、ノベルティ・タイル・ファインセラミックスも5割以上の高い回答割合となった。また、電磁器は「代表者(社長)1人の判断」が**47.6%**と最も高く、和飲食器では「従業員との個別協議」が「幹部間での協議」と同様に高かった。

その他業種についても、各業種で「幹部間での協議」が高い回答割合であった。

3. 賃上げ実施の条件について(複数回答)

(単位:%)

	景気見通し不透明感の払拭	自社の業況改善	同業種の賃金相場改善	同地域の賃金相場改善	取引条件改善(価格転嫁等)	人材確保競争激化	従業員の定着・士気高揚の必要性増大	助成金等の拡充	最低賃金の上乗せ改訂	その他
ノベルティ	47.1	82.4	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	11.8	11.8	0.0
洋飲食器	66.7	77.8	22.2	0.0	33.3	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0
タイル	57.1	42.9	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
電磁器	38.1	90.5	4.8	0.0	0.0	14.3	4.8	9.5	9.5	0.0
ファインセラミックス	42.9	64.3	14.3	0.0	0.0	28.6	35.7	7.1	21.4	0.0
和飲食器	78.9	73.7	31.6	0.0	10.5	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0
陶磁器製造業計	54.0	75.9	13.8	0.0	6.9	9.2	12.6	8.0	10.3	0.0
珪砂	63.6	81.8	0.0	27.3	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0
和飲食器卸売	41.7	66.7	20.8	0.0	16.7	8.3	16.7	0.0	29.2	4.2
電設資材卸売	77.8	72.2	11.1	0.0	0.0	33.3	16.7	5.6	0.0	0.0
建築・土木・生コン	41.2	82.4	0.0	0.0	17.6	5.9	17.6	5.9	17.6	0.0
螺子	70.6	64.7	5.9	0.0	5.9	5.9	11.8	5.9	5.9	0.0
その他業種計	57.5	72.4	9.2	3.4	10.3	13.8	16.1	3.4	12.6	1.1
瀬戸・尾張旭地区取引先計	55.7	74.1	11.5	1.7	8.6	11.5	14.4	5.7	11.5	0.6
名古屋地区取引先計	47.4	78.1	19.0	2.2	8.8	15.3	23.4	9.5	8.8	0.0
当金庫取引先計	52.1	75.9	14.8	1.9	8.7	13.2	18.3	7.4	10.3	0.3
全国	41.8	75.2	13.9	5.9	10.1	9.6	29.4	6.8	6.2	1.8
愛知	37.2	76.3	14.2	6.5	10.4	13.0	36.0	5.9	6.1	2.3

賃上げの条件は業況と景気見通しの改善

<当金庫取引先>

賃上げ実施の条件については、「自社の業況改善」の回答割合が**75.9%**と最も高く、「景気見通し不透明感の払拭(52.1%)」「従業員の定着・士気高揚の必要性増大(18.3%)」が続いた。

瀬戸・尾張旭地区取引先では、「自社の業況改善」の回答割合が**74.1%**と最も高く、「景気見通し不透明感の払拭(55.7%)」が続いた。

名古屋地区取引先も、「自社の業況改善」の回答割合が**78.1%**と最も高く、「景気見通し不透明感の払拭(47.4%)」が続いた。また「従業員の定着・士気高揚の必要性増大(23.4%)」の割合が、瀬戸・尾張旭地区取引先と比較して高くなっている。

全国・愛知県も当金庫取引先と同様に「自社の業況改善」が最も高く、「景気見通し不透明感の払拭」が続いている。また、「従業員の定着・士気高揚の必要性増大」の回答割合が当金庫と比較して高く、特に愛知県では**36.0%**の回答割合があった。

<陶磁器製造業>

賃上げ実施の条件について、「自社の業況改善」と回答した企業割合が**75.9%**と最も高くなり、続いて「景気見通し不透明感の払拭(54.0%)」「同業種の賃金相場改善(13.8%)」となった。

業種別にみると、全業種で「景気見通し不透明感の払拭」「自社の業況改善」の2項目の割合が高く、「景気見通し不透明感の払拭」は和飲食器で**78.9%**の企業が、「自社の業況改善」は電磁器で**90.5%**、ノベルティで**82.4%**の企業が、それぞれ賃上げ実施の条件として挙げている。

その他業種においても、「自社の業況改善」「景気見通し不透明感の払拭」の2項目の割合が高く、重要な賃上げ実施の条件としている。

4. 積極的な正社員採用の条件(複数回答)

(単位:%)

	積極採用の意思あり											積極採用の意思なし
	景気見通し不透明感の払拭	自社の業況改善	他社の採用積極化	新分野・新事業への進出	従業員の高齢化進行	欠員の発生	雇用助成金等の拡充	融資面での各種優遇の拡充	その他			
ノベルティ	82.4	41.2	52.9	0.0	17.6	11.8	47.1	0.0	0.0	0.0	17.6	
洋飲食器	100.0	66.7	66.7	0.0	11.1	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	
タイル	42.9	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	
電磁器	90.5	47.6	66.7	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	9.5	
ファインセラミックス	92.9	42.9	57.1	7.1	7.1	35.7	64.3	7.1	0.0	0.0	7.1	
和飲食器	63.2	42.1	47.4	10.5	0.0	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	36.8	
陶磁器製造業計	80.5	46.0	55.2	3.4	5.7	16.1	31.0	6.9	0.0	0.0	19.5	
珪砂	90.9	63.6	54.5	0.0	27.3	36.4	45.5	0.0	0.0	0.0	9.1	
和飲食器卸売	75.0	25.0	29.2	0.0	8.3	33.3	33.3	4.2	0.0	0.0	25.0	
電設資材卸売	100.0	66.7	61.1	0.0	22.2	5.6	38.9	11.1	0.0	0.0	0.0	
建築・土木・生コン	94.1	47.1	47.1	0.0	0.0	35.3	52.9	0.0	0.0	0.0	5.9	
螺子	94.1	52.9	47.1	0.0	11.8	29.4	23.5	0.0	0.0	0.0	5.9	
その他業種計	89.7	48.3	46.0	0.0	12.6	27.6	37.9	3.4	0.0	0.0	10.3	
瀬戸・尾張旭地区取引先計	85.1	47.1	50.6	1.7	9.2	21.8	34.5	5.2	0.0	0.0	14.9	
名古屋地区取引先計	89.1	38.0	61.3	1.5	8.8	27.7	45.3	9.5	1.5	0.7	10.9	
当金庫取引先計	86.8	43.1	55.3	1.6	9.0	24.4	39.2	7.1	0.6	0.3	13.2	
全国	88.4	36.3	57.1	2.3	12.2	27.4	37.2	6.3	1.4	0.8	11.6	
愛知	92.5	35.1	59.3	1.5	14.0	33.5	42.4	5.9	0.8	1.1	7.5	

状況次第で正社員採用の意思あり

<当金庫取引先>

積極的な正社員採用について、「積極採用の意思あり」と回答した割合は 86.8%、「積極採用の意思なし」の 13.2%を大きく上回った。正社員採用の条件については、「自社の業況改善」が 55.3%と最も高い回答割合となり、続いて「景気見通し不透明感の払拭(43.1%)」「欠員の発生(39.2%)」となった。

瀬戸・尾張旭地区取引先においても、当金庫取引先と同様に「積極採用の意思あり」と回答した割合は 85.1%、「積極採用の意思なし」の 14.9%を大きく上回った。

名古屋地区取引先では、「積極採用の意思あり」の回答割合は 89.1%と「積極採用の意思なし」の 10.9%を上回り、瀬戸・尾張旭地区と比較して「積極採用の意思あり」の割合が高かった。

全国・愛知県では、「積極採用の意思あり」の回答割合が高く、特に愛知県では 92.5%の企業が回答するなど、状況が整えば正社員を積極的に採用したいという動向が伺える。

<陶磁器製造業>

積極的な正社員採用について、「積極採用の意思あり」の回答割合は 80.5%となり、「積極採用の意思なし」の 19.5%を上回ったものの、当金庫取引先を下回った。正社員採用の条件については、「自社の業況改善」が 55.2%と最も高く、「景気見通し不透明感の払拭(46.0%)」「欠員の発生(31.0%)」が続いた。

業種別でみると、洋飲食器で 100%、電磁器とファインセラミックスで 9 割以上の企業が「積極採用の意思あり」と回答している一方で、タイルでは 57.1%、和飲食器では 36.8%の企業が「積極採用の意思なし」と回答している。正社員採用の条件については、全業種で「景気見通し不透明感の払拭」「自社の業況改善」の 2 項目の回答割合が高いほか、ノベルティとファインセラミックスでは「欠員の発生」、洋飲食器とファインセラミックスでは「従業員の高齢化進行」も高い回答があった。

5. 人材定着に必要な対応について(複数回答)

(単位:%)

	対応が必要										対応は不要
	給与の改善	給与以外の福利厚生 の改善	働きやすい 職場環境 づくり	自社 業務の 魅力向上	自社の 知名度 向上	社内研修 制度の 充実	社内イベント (社員 旅行等) の開催	非正規 雇用の 正規 雇用化	その他		
ノベルティ	76.5	58.8	11.8	52.9	35.3	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	23.5
洋飲食器	88.9	11.1	0.0	77.8	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
タイル	28.6	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	71.4
電磁器	71.4	38.1	19.0	47.6	9.5	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	28.6
ファインセラミックス	92.9	35.7	21.4	35.7	35.7	7.1	14.3	7.1	21.4	0.0	7.1
和飲食器	52.6	36.8	10.5	15.8	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	47.4
陶磁器製造業計	70.1	36.8	14.9	41.4	20.7	2.3	3.4	2.3	5.7	0.0	29.9
珪砂	90.9	54.5	18.2	72.7	36.4	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1
和飲食器卸売	62.5	25.0	8.3	41.7	20.8	8.3	0.0	4.2	4.2	4.2	37.5
電設資材卸売	94.4	44.4	38.9	88.9	16.7	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	5.6
建築・土木・生コン	76.5	35.3	17.6	64.7	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5
螺子	88.2	70.6	35.3	76.5	17.6	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8
その他業種計	80.5	43.7	23.0	66.7	20.7	3.4	0.0	1.1	5.7	2.3	19.5
瀬戸・尾張旭地区取引先計	75.3	40.2	19.0	54.0	20.7	2.9	1.7	1.7	5.7	1.1	24.7
名古屋地区取引先計	92.0	41.6	21.2	70.1	37.2	8.8	7.3	2.2	1.5	0.0	8.0
当金庫取引先計	82.6	40.8	19.9	61.1	28.0	5.5	4.2	1.9	3.9	0.6	17.4
全国	84.0	47.2	23.1	60.4	26.3	7.3	8.4	4.2	3.8	0.6	16.0
愛知	88.9	50.1	21.1	70.9	29.9	8.2	10.6	6.0	3.8	0.4	11.1

職場環境づくりを通じて人材定着を図る

<当金庫取引先>

人材定着に必要な対応については、「対応が必要」の回答割合が82.6%となり、「対応は不要」の17.4%を大きく上回った。具体的な対応の内容をみると、「働きやすい職場環境づくり」が61.1%と最も高く、「給与の改善(40.8%)」「自社業務の魅力向上(28.0%)」が続いた。

瀬戸・尾張旭地区取引先は「対応が必要」の回答割合が75.3%、「対応は不要」の回答割合は24.7%となった。また、名古屋地区取引先でも、「対応が必要」の回答割合が92.0%、「対応は不要」の回答割合は8.0%となり、瀬戸・尾張旭地区取引先、名古屋地区取引先ともに人材定着に対応が必要だと考えている。

全国・愛知県も当金庫取引先と同様に「対応が必要」の回答割合が高く、「対応は不要」の回答割合を大きく上回った。具体的な対応の内容をみると、当金庫と同様に「働きやすい職場環境づくり」「給与の改善」「自社業務の魅力向上」の回答割合が高かった。

<陶磁器製造業>






















人材定着に必要な対応について、「対応が必要」の回答割合が70.1%となり、「対応は不要」の29.9%を上回った。具体的な対応の内容をみると、「働きやすい職場環境づくり」が41.4%と最も高く、「給与の改善(36.8%)」「自社業務の魅力向上(20.7%)」が続いた。

業種別でみると、ファインセラミックスの92.9%、洋飲食器の88.9%の企業が「対応が必要」と回答している一方で、タイルの71.4%、和飲食器の47.4%の企業が「対応は不要」と回答している。

対応の内容をみると、洋飲食器・電磁器では「働きやすい職場環境づくり」が高い回答割合であるのに対し、ノベルティ・和飲食器では「給与の改善」が高い回答割合となっている。

景気動向調査結果 (名古屋地区)

平成 27 年 6 月

業種		時期	前期	当期	来期見通し	概 況
		平成 27 年 1~3 月	平成 27 年 4~6 月	平成 27 年 7~9 月		
製 造 業	繊維製品				業況判断DIは0.0、前期比27.3ポイント改善となった。受注額DI・売上額DIともに0.0、前期比ともに18.2ポイントの改善となっている。 予想業況判断DIは18.2、今期比18.2ポイント改善する見込み。	
	機械・部品				業況判断DIは5.4、前期比2.7ポイント悪化となった。受注額DIは10.8、前期比2.7ポイントの悪化。売上額DIは8.1、前期比5.4ポイントの悪化となっている。 予想業況判断DIは10.8、今期比5.4ポイント改善する見込み。	
	紙加工品				業況判断DIは△21.4、前期比14.3ポイント悪化となった。受注額DIは△14.3、前期比横ばい。売上額DI・売上数量DIはともに△21.4、前期比ともに7.1ポイントの悪化となっている。 予想業況判断DIは△7.1、今期比14.3ポイント改善する見込み。	
卸 売 業	鋼材・伸銅品				業況判断DIは△19.0、前期比19.0ポイント悪化となった。売上額DIは△9.5、前期比9.5ポイントの悪化となっている。売上数量DIは△14.3、前期比19.1ポイントの悪化となっている。 予想業況判断DIは△4.8、今期比14.2ポイント改善する見込み。	
	建築材料				業況判断DIは△33.3、前期比26.6ポイント悪化となった。売上額DIは△53.3、前期比46.6ポイントの悪化。売上数量DIは△46.7、前期比33.4ポイントの悪化となっている。 予想業況判断DIは△40.0、今期比6.7ポイント悪化する見込み。	
	家具・文具				業況判断DIは△30.0、前期比10.0ポイント悪化となった。売上額DI・売上数量DIはともに△10.0、前期比はともに10.0ポイントの改善となっているものの依然低調。収益DIは△20.0、前期比10.0ポイント悪化となっている。 予想業況判断DIは△20.0、今期比10.0ポイント改善する見込み。	
建 設 業					業況判断DIは27.6、前期比4.5ポイント悪化となった。受注額DIは20.7、前期比11.4ポイントの悪化。売上額DIは24.1、前期比8.0ポイントの悪化となっているものの、他の業種と比較して好調となっている。 予想業況判断DIは27.6、今期比横ばいの見込み。	

※この天気図は、本調査を総合的に判断して作成したものです。

好 調 ←      → 低 調

バンコク駐在員事務所通信

平成27年6月
バンコク駐在員事務所
所長 稲垣 尚則

アセアン経済共同体 (AEC)

2015年末、アセアン経済共同体 (AEC) がいよいよ発足します。AEC 発足によって域内の「モノ」「ヒト」「サービス」の自由化が進み、さらなる経済発展が見込まれています。

「モノ」の自由化では市場統合による関税撤廃、「ヒト」の自由化では熟練労働者の移動解禁、「サービス」の自由化では出資の規制緩和などが進む見通しです。なお、「経済共同体」と言っても、AEC は、EU (欧州連合) のように行政、議会、裁判所を備え、関税同盟を結び、多くの国が採用する共通通貨を導入するものではありません。

アセアンは、1967年にタイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポールの5カ国で結成、その後、1984年にブルネイ、1995年にベトナム、1997年にミャンマーとラオス、そして1999年にカンボジアが加盟して10カ国になりました。アセアン各国合計の人口は各種統計から推計値で現在6億640万人、その隣国には中国 (約13.6億人) やインド (約12.4億人)、さらに海を隔てて先進国の日本やオーストラリアが存在します。国単位ではなく、一つの経済圏としての地位確立を目指すことで域内の自由な経済活動が対外投資も呼び込み、アセアン内で貿易も活発化するとみられています。

そしてアセアンの中心に位置するタイはその中心的な役割を期待されています。タイのGDPは一人当たり約5,000ドル、シンガポールとブルネイを例外とすればアセアンではタイが最も経済が発展していると言えます。また、インドシナ各地を結ぶ道路整備とインフラ整備もタイを中心に進んでおり地理的にも優位な位置にあります。タイに進出する日系企業にもAEC発足は大変注目され、多くの企業がその域内関税撤廃をにらんだタイ周辺国との取引、タイを中心として東はカンボジア、ベトナム、西はミャンマー、北にはラオス、中国へと延びる各経済回廊を利用した物流の構築、労働者の域内移動が自由になることをにらんだ周辺国および周辺国国境地域への製造工場の移転等の戦略を練っているところです。

タイは、2014年5月に軍が統治権を掌握して以降、軍政下で表面的には政治の安定は確保されています。なお、民政復帰については、憲法案が9月頃にまとまり公開された後、総選挙が行なわれる予定ですが、総選挙は、当初の計画に比べ半年遅れの2016年後半にずれ込む模様です。このような政治の問題を抱えると共に、主要輸出相手国である中国の景気減速により輸出は力強さを欠いており、総じて緩慢な景気回復にとどまっていますが、本年、競争力を高めるために国内および海外での高度な価値のある投資を促進する「新しい投資奨励制度」を導入しており、タイが「中所得の罌※」を乗り越え、AECの中心となってアセアン全体がいずれ世界市場をリードしていくことが期待されています。

※「中所得の罌」とは、自国経済が中所得国のレベルで停滞し先進国 (高所得国) 入り
が中々できない状況のことを言います。